



さきもり

＼あなたの／

防災力募集

災害から江東区を一緒に守る仲間を募集しています！！

地域の
ために



こどもたちの
ために



よろしく
お願いします。



江東区は深川消防団を応援しています！！

■特集インタビュー 使える防災力=江東区と学校と消防団

秋の全国火災予防運動 11月9日(木)～11月15日(水)まで

区長・教育長・団長 インタビュー

(7月26日取材)

今回は、江東区と学校と消防団で「使える防災力」と題してお話を聞かせて頂きます。

岩淵 「使える防災力」というワードからそれぞれの行っている、またはこれからやっつけていこうと思っているなど、防災についての取り組みをお話ください。

※江東区の使える防災力として、防災カタログ「そなエールギフト」を全戸配布いたしました。

区長 例えば、江東区においてはまずよくいつているのは、防災にも地震・豪雨とありまして、例えば江東区では城東地域を中心に水災害の被害に遭いやすい地域があります。実際にこれまで荒川が決壊したことはないのですが、今後、垂直避難なども考えていかなければなりません。その一方で、豊洲地域などでは、タワーマンションが多く、地震が起きたときに停電のリスクがあります。そうするとエレベーターも動かなくなる、トイレも使えなくなるなど地域ごとに災害の課題があります。今回、区内の全世帯にお配りした「そなエールギフト」を活用していただきたいです。お住いの地域では何を優先に考えなければいけないのか、年齢層や家族構成によって必要なものも違うと思います。そういった地域特性やさまざまな状況を考慮しながら、対策を進めてまいります。

※学校、教育委員会の使える防災力として、毎月避難訓練を行っています。

教育長 やはり、いつ起こるか分からない災害に対して、リアルな想定をしつかりしていかなければならない。東日本大震災を経験して、防災に対する意識も変わってきています。当時は十分にリアルな想定はできていなくて、その時その時にベストを尽くして対応しましたが、今までに想定してもいけないことが起きたということが多かったんです。学校では、毎月避難訓練を行っています。その中で、子どもたちは訓練を重ね、防災について勉強もしています。例えば、小学生は消防署見学に行き消防署やその仕事について勉強します。また、消防団にも学校に来て頂いて消火器の使い方などを学んだり、中学生は、応急救護訓練なども教わったりしています。子どもたちは災害時に、自分の命をどう守れるのかを自分で考えていくことが必要だと思っています。今までの型通りの訓練から、そういったリアルな想定での訓練が必要であり、その取り組みをしているところです。

岩淵 では、リアルな想定でといいますと、平時、町の中には要配慮者「子どもと高齢者」しかいない。大規模な災害が起きた場合、やはり地域においては防災組織としての消防団の役割も重要になってくると思います。また、平時日中は、女性団員の役割も重要になってくるかと思っています。女性団員の役割について求めるもの、消防団入団促進に向けて何かありましたら、是非教えてください。

区長 例えば、東日本大震災のとき、避難所での女性自衛官の細やかなサポートが女性たちに大好評だったと聞いたことがあります。命に多く関わるわけではないけれど、細やかな女性の気遣いで生活の質などが上がったおかげで、すぐ救われたなどが過去においてあるそうです。江東区としましては、防災授乳服の配備などもそういった女性ならではの気遣いから配慮されたものです。女性消防団員の皆様の役割はこれからさらに期待されるものと思います。

団長 深川消防団には260人位いるんですが、昔とは違い町の中で生業を行っている人も少ないのが現状です。会社員なんかは、やはり昼は仕事で江東区から出ていて、夜なら活動できるなんて人も少なくありません。



教育委員会

本多教育長



その中で、50名くらいの女性団員がいます。特に、我々男性では気が付かないようなこともよく気が付いてやってくれています。そういった意味では協力的で本当に助かっています。私も、実際のところ大規模な地震や水害など経験したこともないのですが、想定しているのは難しいと思っています。でも、自助で考えた時に、身の安全、その次に私は消防団として火災について重要視しています。今回、江東区から頂きました「そなエールギフト」でスプレー式簡易消火具のように、誰でも使える、自分での安全を守る対策をとっていかねければならないですね。そのうえで、みんなで助け合っていく「共助」が本当に大切になっていくと思っています。いつ起きるかわからない、災害に対しても我々消防団員も常に危惧して訓練に励んでいかなければならないと思っています。

教育長 火災で大事なものは火を出さないということと、初期消火が大事ですよね。まさにこのことは、こどもたち、女性の方を含め、区民の皆さんが生きてくる活動なんだと思っています。消防団にも学校に来て教えて頂いて頂いていますが、そういったことをこどもたちに学んでもらう。先ほど団長の話にあった、自助といった部分で、それぞれのレベルに合わせた活動になると思いますが。消防団入団についても、ハードルを低くして段階を踏まえて活動に参加できるようにするとよいのではないかと思います。こどもたちも、初期消火までは、できた。じゃあそのことを親に話をしてみる。そこから、家族で災害について話していくようなことがやはり大事だと思います。「使える防災力」という意味では、一つ一つの知識や経験を繋げていったうえでステップアップしていくのがよいと思います。今回三者がそろって、話し合いができたということで、今後連携をとりながらいいほうに取り組んでいけたらよいと思います。

岩淵 では、こどもたちが防災力の必要性を感じて身に付けていくにはどうしたらいいでしょうか？

区長 町会の高齢化が進む中で、若い世代が共に防災活動をしていけるといいですね。

教育長 中学生は学校避難所では大きな力となります。一部の学校では始めていますが、備蓄倉庫の点検や避難所開設訓練等に取り組める機会を設けることで、自らの防災力を高める必要性を感じられるのではないのでしょうか。教育も時代と共に大きく変わってきていますが、防災においては、学校での防災訓練を含めて、アップデートしていかなければならないと思います。

区長 ぜひ、皆さんと一緒に頑張ってほしいですね。

岩淵 ありがとうございます。最後は一言お願いします。

団長 こどもたちには人の命の大切さを植え付けていきたいですね。人が倒れていた時に、「誰か助けてください」と言える勇氣をもった子に育って頂きたいですね。そのために、消防団も色々とお手伝いをさせて頂きます。

区長 消防団が地域の防火・消火活動に従事しておられる中で、さらに防災という広い視点で、柔軟性を持って地域で活躍できるまちづくりが進んだらいいなという思いがあります。

教育長 これからは、消防署や消防団等、特定の人だけに任せるのではなく、それぞれの立場でできることに取り組んでいくことが大事です。そういった意味では、誰もが、災害が起きたらどう判断し、どう行動できるか、各自が防災力を身に付けられるような仕組み作りが重要ですね。学校では、防災教育となりますが、今後、消防団の皆さんとも一層協力・連携していけたらと思っています。

岩淵 本日はお忙しいところありがとうございました。

これから秋の全国火災予防運動に向けて消防団一同防火防災のため警戒に尽力して参ります。

Do it Now!

さらに防災力が
高まっていくと
いいですね!!

深川消防団

岩淵部長

深川消防団

田口団長

誰もが輝く深川消防団!!

女性
団員編

6月6日9年ぶりに女性の会が再結成!!

木村江東区長・山本議長を
お迎えして、女性団員が一堂に
集まり楽しく女性の会が
開催されました。各自が自己PR
もしましたよ!!



深川消防団女性の会の再結成に
あたり今回は、女性団員に聞いて
みたいことや、普段どんな活動を
しているかご紹介します。
質問には私たちがお答えします!!



アンケートでは こんな疑問や質問がありました。

A Q. 私は、大学生ですが学業と訓練の両立に悩んでいます。

第6分団 斎藤団員

A. もちろん、学業を優先にして頂きながら、ご自分の参加できる時に、参加して下さい。無理はしないでね!! お勉強頑張って~!!



B Q. 私は、あまり筋力がないので体力的に心配です。

第4分団 金澤団員

A. 重たい資機材や、ホースを何個も運んだりすることもありますね。一人で持てなくても二人で持つなど協力することが大事ですね。大丈夫。



C Q. 私は、入団したばかりで分からないことが多く不安です。

第10分団 吉原団員

A. 大丈夫です! みんな優しく応援してくれます。困ったら抱えこまずにすぐに、誰かに相談してみてね。皆で頑張っていこうね。私たちも応援するからね。



D Q. 災害現場に出場した後、気持ちが落ち着かないことがあります。

第9分団 岩淵部長

A. そうですね。何回現場を経験しても、毎回終わった後はドキドキしています。そんな時は、すぐに、先輩などに話を聞いてもらうと、気持ちが落ち着くよ!





◀ 始式や、操法大会では、介添えや司会補助などもやります。広報では写真も撮るよ！



◀ 地域や学校などで訓練指導をすることもあります。初期消火・応急救護訓練などがあるね。頑張れ！！



1年間の訓練では、こんな活動をしています！

▶ 火災出場がかかれば、女性だけで緊急出動したりもするよ。



▶ 操法大会では、選手としても参加しています！3番員は、女性団員が結構いるんだよ。



今年の個人賞は-!?

女性団員の思いは地域のお役に立ちたい！！



さきもり第一号が発行されたのが平成18年1月。毎回、素晴らしい内容の広報誌ができ、団員の活躍状況や地域の方々に防災に対する情報が発信されていると思います。今回、女性の会再結成ということで、平成2年に入団し、印象に残った出来事の一つをお話します。担当する第6分団地域で早朝お線香の火から発災し、すぐに出場。まだ、その頃は現場に行くと交通整理とホースの撤収が女性の役目でした。鎮火し消防士が煤で真っ黒になった顔で「助けられなかった」とがっかりと一言。真剣に職責を果たされている姿をみて感銘を受け、防火防災にしっかり取り組もうと強く決意。その後、平成10年～12年頃には、訓練を積み重ね深川消防団初の女性団員だけの操法訓練を操法大会で披露しました。今後は、女性団員の充実と、特性をいかした広報活動、表彰の介添え業務。そして操法訓練も男性団員と一緒に取り組むのはもちろん、火災現場も積載車に乗って駆け付ける。

男女平等！行動は常に一緒に！

友の会 形屋理事



入団して28年。第6分団の輪の中で素晴らしい先輩方に囲まれて御指導をして頂きました。これからも、地域の防災行動力向上の為、消防署のご指導を頂きながら皆様と協力し、安心安全な街作りの防災リーダーとして今後も努力していきたいと思ひます。女性団員の皆さん一緒に活動頑張りましょう！

団本部 長谷川分団長



入団したきっかけは、阪神・淡路大震災で何も出来ない歯痒さから、当時住んでいた地域の消防署で救命講習を受けたことからです。その時立ち上げられた災害時支援ボランティアのことを聞き、すぐに登録し、活動すること18年。その後深川に移転し、地元でも何か出来ないかと消防団に入団しました。日赤や東日本大震災でのボランティア活動など、全ての経験がこれからの団活動でも生かされるように頑張っていきたいと思っております。

第7分団 藤田分団長



深川八幡祭り特集

富岡八幡宮神輿総代連合会会長インタビュー

富岡八幡宮 神輿総代連合会 会長 山崎 修さん

六年ぶりに行われる本祭りにかける思いを山崎会長に聞いてみました。

連合会の会長は三年で交代することになっている。本祭り、二の宮、子供連合をやつてという形で、平成二十九年の年に会長となり、東京オリンピック二〇二〇時に、日本中の人や外国からのお客さんが来ると予想される今までにない機会ということ、大喜びして会長に就任した。

その後、コロナ禍でどこもかしこも中止となってしまった。悲しい思いをしながら、会合もできない状況が続いた。それら乗り越えて昨年暮れくらいから崇敬会と話をしながら、今年はなんとかなるだろうとまずは準備しなければいけないので、やるということだけを決定した。今年の一月二十八日の連合会の総会で今年はやるということを発表した。でも方が一ということがあることを念頭に置きつつ、五月頃から五類になり、本格的に開催できる見通しがたつたのが何しろうれいす。祭りが好きで総代になって、本祭りをやることは一番の楽しみ。自分だけでなく、各町会の担ぎ手さんが楽しんでもらえるような楽しいお祭りになりたいと思っている。

神輿総代は全部で三百二十人ほどいる。幹事総代は六十二名で、この中で殆どのこと決定している。その下の一般総代町の青年部の方々に伝えていくシステムとなっている。青い半纏に「総代」と書いてあるのが「総代」で、「幹事総代」は二本線が入っているものを着用している。幹事総代のうち、十四人は赤い二本となっている。これは役付けです。こういった点も注目してみると面白い。

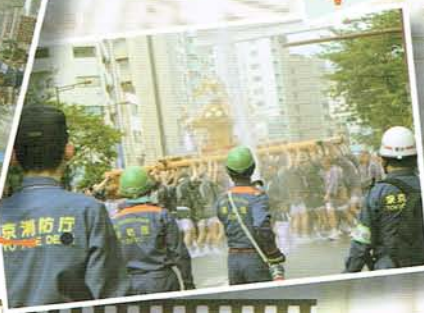
なにしろ楽しみではない。待ちに待った感じです。前回より間があいたので、平成二十九年や平成二十六年のデパートを引っ張りだしてきて皆で侃々諤々しながら準備をやつてきたのも楽しい。今は当日皆が楽しんで御神輿ができることを、個人的には本祭りの時に会長しかできない出発の時に安全祈願として、富士山のように山を形取つた砂の上に塩をまき、会長が払って、一番神輿がスタートする時が一番の楽しみである。五十三基の神輿を見送り、帰りはお迎える。

そして今年の本祭りでは「最後の五十三基目がかえつてきて、幹事長や仲間達と抱き合っている自分の姿を思い描いている。今は楽しみしかない。楽しみがあるから苦労しても頑張れる」と穏やかな口調で語ってくれた山崎さんの姿は夕日に照らされて一層輝いて見えました。



無事に開催できて良かった！
皆の笑顔が最高のご褒美。

消防団の皆さん
ご苦労さまでした。
感謝！





富岡八幡宮例大祭 各町神輿連合渡御



**富岡八幡宮例大祭
各町神輿連合渡御
特別警戒及び放水訓練**

猛暑の中、消防による特別警戒及び放水訓練を行いました。六年ぶりの本祭りということもあり、各分団員も気持ちいっばいで臨みました。例年になく暑さと時折降り注ぐ雨の中、五十三基が様々な担ぎ技で楽しませてくれました。「水掛け祭り」の別名があるほど、名物となっている消防団による放水。楽しみにしてくれている皆さんのために、華麗な放水と運行の安全を念頭に汗だくになりながら、御神輿を応援するサポートを行いました。担ぎ手の皆さんや観客の方々から、「ご苦労さま」、「ありがとう」のかけ声が一番の励みになり、充実した本祭りとなりました。

「第7分団 村上」

第42回深川消防団消防操法大会



5月28日(日曜日)4年ぶりに第42回深川消防団消防操法大会が豊洲市場水産卸売場棟駐車場で行われました。先週末まで週末は雨に見舞われ各団は訓練もままならなかったところ、当日は晴天に恵まれました。今回は会場の都合などにより基本操法に一本増加がなく、略式の操法で大会は行われました。今年の操法大会においては前回から時間がたっていること、年々訓練場所の確保が難しくなっていること、選手の高齢化など、ますます訓練が難しくなっています。

その中で第6分団と第7分団が共同で訓練を行うなど、工夫して新しい試みもされたようです。

優勝した第8分団では天候の状況で訓練を中止しようとしたところ、選手の希望で雨のなか行われたりもしました。第8分団は以前からは間が空きましたが、今回で16回目の優勝となりました。

長いコロナ禍あけの状況下でしたが、各団選手の気力旺盛な演技には観客の惜しめない声援が起こっていました。

- 【順位】
 優勝 第8分団
 準優勝 第1分団
 第三位 第2分団
- 【個人賞】
 指揮者 第7分団 牧野 寛人 班長
 一番員 第8分団 平 政幸 団員
 二番員 第8分団 井上 毅志 部長
 三番員 第7分団 山本 知里 団員
 四番員 第7分団 樋口 達也 班長
- 【第8分団 庄井】



個人賞



優勝 第8分団

江東区総合防災訓練



関東大震災から100年を間近に控える8月27日、江東区の主催による江東区総合防災訓練が木場公園多目的広場で行われました。本訓練は実際の災害発生を想定し、区内各団体により、発災から、家屋閉じ込めによる救出訓練、けが人の搬送、トリアージ、医療救護、火災発生から消火、避難生活での訓練展示など多岐にわたり、時系列に沿うよう行われ、消防のほか警察・自衛隊・区役所だけではなく、電力、ガスなどのインフラ企業、医療機関、地域マスコミ、一般企業まで考えられる限りの団体の参加による、まさに総合防災訓練となっています。

深川消防団においては救出救助訓練から医療機関へけが人搬送・建物消火訓練からの一斉放水を行いました。

前日に消防団の活動用の水槽への注水と現場の下見を行ったとき、何人かの一般の方に訓練実施時間を確認され、認知はされていることを実感しましたが、当日の出入などを考えますと、まだまだ広報が必要だと感じます。

本訓練は昨年も行われましたが、炊き出し訓練、体験訓練などは4年ぶりに行われたそうで、「麺類協同組合深川支部」の素麺の炊き出し訓練が特に人気ようでした。

【第8分団 庄井】

消防団協力事業所

弊社は、防火・防災に積極的に取り組んでいます。

https://www.teikoku-soko.jp/ E-mail:info@teikoku-soko.co.jp
PHONE.03-3642-0121 FAX.03-3641-1763

TEISOH 株式会社 帝国倉庫
〒135-0024 東京都江東区清澄 1-5-1

消防団協力事業所



株式会社 **ムトウユニパック**

代表取締役 会長 武藤佳資

私たちは、本社ならびに各事業所を通じ、地域社会への貢献を目指しております。



本社 / 東京都江東区永代 1-7-12 TEL 03-3642-1141(代表)
https://www.mutoh-u.co.jp/
支店・出張所 / 東京中央・東京西・城南横浜・千葉・さいたま・栃木・前橋・新潟・大阪

幹部親睦視察研修



6月10日、11日神奈川県川崎市にある東京油槽株式会社「現セントラル・タンクターミナル株式会社」で幹部親睦視察研修が行われた。今回は、第9分団が幹事ということで、木下分団長の一押しで分団長の勤務先の会社を訪問。普段は入れない禁止区域にも特別に入れて頂き、立ち並ぶタンクや施設を見学しながら説明を受けた。危険物を扱っているということもあり、消防資機材や設備にも興味深々で話を聞いていた。その後、小田原城へ進み宿へ。久しぶりにマスクなしでの食事に会話がたくさん弾んだ。次の日も、あいにくの雨ではあったが、富士スピードウェイへ。見学する中で説明を誰よりも熱く語っていたのは・・・。実は、木下分団長は元レジャーだった過去がリアルな生体験の実況

中継付のガイドで車好きが多い消防団員は「ほー」「ずー」「へー」など思わず口に出しながら、コースを走る車に食い入るように見詰めカメラを向けていた。やはり体験に勝るものなし。いつか、ここを走行車体験で走ってみたいなと心躍らせていた方もいたのではないだろうか。帰路につくと「今回の研修楽しかった!!」そんな声が多く聞け第9分団一同ほっとしていた。今回、久しぶりの幹部親睦視察研修ではありましたが、深川消防署の皆様、深川消防団員・友の会を支えてくださっているご家族の皆様のおかげで無事に終えることが出来ました。有難うございました。

「第9分団 岩淵」

2023東京国際消防防災展



このイベントは、東京消防庁主催で5年毎に開催される国内最大級の消防・防災に関する国際的な展示会です。

6月15日から18日までの4日間、東京ビッグサイトで開催され深川消防団の各分団も参加しました。

会場では消防・防災に関する最先端のサービスや製品が多数展示・紹介され大勢の人が来場されており、消防防災に関するさまざまなセミナーや講演会も開催されました。

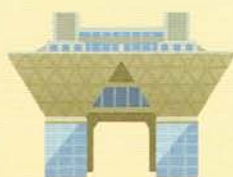
屋外の会場では大規模震災を想定した、空・陸・海からの救助・消火訓練演技が行われました。

深川消防団は、東京消防庁消防部隊や在日米海軍消防隊と共に、積載車による出場・ホース延長・二斉放水の消防演技を披露しました。

東京国際消防防災展では、最新の消防車両等を直接見ることができ、また一緒に活動したことは、貴重な経験になり大規模災害への対応の大切さを再認識しました。

開会式では、東京消防庁消防総監から「関東大震災から百年を迎える本年、東京国際消防防災展を契機に、いま一度、防火防災について考えていただきたい」とのお話がありました。

「第10分団 山口」



消防団協力事業所

弊社の社員も消防団員として活動しています。

社員一人ひとりが、防火・防災の知識・技術の向上に取り組んでいます。

ご宿泊・ご婚礼・ご会合等、お気軽にお問い合わせください。



オークラホテルズ & リゾーツ
ホテル イースト21東京

〒135-0016 東京都江東区東陽 6-3-3
03-5683-5683 (代表)
www.hotel-east21.co.jp

消防団協力事業所

「大震災はいつ起こるか
分からない」

丸八倉庫株式会社

江東区富岡 2-1-9

HF門前仲町ビルディング4階

消防団点検

9月17日、木場公園多目的広場において江東区内消防団点検が開催され城東・深川両消防団の部隊検閲が行われました。当日、深川消防団は小隊操練や消火訓練・一斉放水などの展示を行いました。

「第8分団 庄井」



令和5年度深川消防団
夏季懇親会

深川東天紅において8月30日、夏季幹部親睦会が行われました。

榎野深川消防署長・六川警防課長をお迎えし、本団及び各分団の幹部、友の会の皆さんなど久しぶりに会った方々もあり、和気あいあいと行われました。

やはり話題は直前6年ぶりに行われた富岡八幡宮例大祭の「熱中症対策放水訓練」についてのことが多く、各分団長それぞれが訓練での苦労や当時の意気込みなどを報告されました。会ではサプライズで増茂元団長の米寿祝いもありました。

「第8分団 庄井」



手話技能講習に参加して

8月20日(日)特別区消防団手話技能講習が行われた。今年は、各分団に支給されたタブレット端末からLINE WORKSに送付されたZoomでのオンラインで受講となった。誰もいない分団小屋でうまく操作できるかな?と少し不安になったが、前から手話に興味があったのでどうせやるなら少しもたくさん覚えよう!と奮起。8時30分〜16時まで休憩を挟みながらの一日受講となった。講習では、20消防団が画面に集結しNPO法人ホープの講師から指導を画面通して受ける。交流で使える基本的な単語や例文、緊急・災害に関する単語・例文、指文字などを動画の見本を真似しながら、覚えていく。途中で、何度も止めて講師から指名された団は手話を反復して見本でやるため気が抜けず、ドキドキしながら講習を受けた。メモを取りたくても、絵でしか記録を残せないので大変でした。最後、一日かけて教わったことを応用し自己紹介を含め各団が発表をする場面。せっかくなので、「深川消防団で広報誌を作っています。深川消防団岩淵です」と手話をし、習った防災の手話を発表しました。ろう者の講師に手話が伝わり拍手をしてもらえ、画面に広報誌のさきもりを映した時

に、他の団の方も深川の画面を覗き込んでみてくれたのが嬉しかったです。2025年デフリンピックが日本で開催されると聞いています。機会があれば、何かお役に立てるように勉強していこうと思えました。ちなみに、我が第9分団の竹内団員は、手話をたくさん勉強されていてろう者の方と交流を続けています。興味がある方は、是非声をかけてみてはいかがでしょうか?

「第9分団 岩淵」



深川消防署 新署長挨拶



深川消防署長
消防監
榎野 稔

4月1日付の定期人事異動で、第62代深川消防署長を拝命いたしました。140年以上の歴史ある深川消防署で勤務できることは、大変光栄であり身の引き締まる思いです。どうぞよろしくお願い致します。

深川消防署は、東京23区内58消防署の中で管内面積が一番広く、また、管轄区域は江戸の文化が息づく深川地域と開発が進み近未来的な雰囲気がある臨海地域の側面を併せ持つ、東京でも類を見ない活気にあふれた地域だと感じていきます。

昨今、国内外で大地震や異常気象などによる自然災害が頻発しています。署員一同消防団のみならずと力を合わせて、あらゆる災害に全力で立ち向かうとともに、関東大震災100年を契機とした防災力の向上など各種施策を通じて、誰もが安心して暮らせる深川の町を目指していく所存であります。4月以降各種消防団行事等を通じて、深川消防団の活動を拝見し大変心強く、また地域の皆様から消防団に対

する熱い期待と大きな信頼を感じました。これからも、地域の安全・安心を守るため、更なるご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。よろしくお願いいたします。

経歴 昭和58年4月東京消防庁入庁、四谷消防署に拝命、小石川、青梅、二方面本部、麹町、八王子、二方面本部、九方面本部、新宿警防課長、航空隊航空副隊長、救助課救助課長、多摩消防署長、足立消防署長を経て現職

令和5年 人事異動自己紹介
(署幹部及び新消防団担当)



消防司令長
今村 均

4月1日付けの定期人事異動で、災害対策調整担当課長(略して災対課長)に就任した今村でございます。

深川消防署は20歳代の大半を過ぎた思い出深い署であり、約16年ぶりにこの地で勤務できることを、大変うれしく思っております。

災対課長は以前、地域防災担当課長と称していましたが、これまでの地域防災に加えて、近年増加している風水害や、いつ来てもおかしくない首都直下地震など、大規模な災害時における、

区内2消防署と江東区との連携強化のために設置されました。

社会活動もコロナ前の状況に戻りつつある中、あらゆる災害に備え、地域の安全・安心のため消防署も尽力してまいりますので、深川消防団の皆様には、引き続きご支援とご協力をいただきますよう、お願いいたします。

経歴 平成7年9月東京消防庁入庁、大井、深川、向島、石神井消防署、東京防災救急協会派遣(池袋防災館、本所防災館)、防災部防災安全課、赤坂消防署、東京防災救急協会派遣(本所防災館)、企画調整部企画課、同広報課を経て、本年4月に深川消防署(2回目) 災害対策調整担当課長に就任



深川消防署1部
はしご小隊長
坂田 秀豪

今年4月に新宿消防署から深川消防署に異動してきました。消防団操法大会では皆様が大変お世話になりました。4年ぶりに新しい場所の開催でしたが、皆様のご協力で無事に終えることができました。ありがとうございます。

(令和5年4月1日付)

深川消防団 補職



第10分団長
柏原 幸一

本年4月、第10分団長を拝命致しました柏原です。コロナ明け消防団活動全面再開の中、第10分団員皆様からのご理解ご協力を頂き、団としての責務に取り組んでおります。今後も前向きな姿勢を忘れず、活動に精進してまいります。どうぞ皆様宜しくお願い致します。



第7分団長
藤田 享子

令和5年4月より第7分団の分団長を拝命しました。団歴10年目で、まだまだ経験不足ですが、20代からの日赤でのボランティア活動や阪神淡路大震災、東日本大震災の現地での経験、25年間の災害時支援ボランティアでの経験を活かせるよう、今後も積極的に学んでいきたいと思っております。よろしくお願い致します。

令和4年度消防功労者消防庁長官表彰受章者



令和5年3月10日
永年勤続功労章 受章
団本部 副団長

鳩貝 裕幸

日本消防協会定例表彰

令和5年3月3日

功績章 受賞
第9分団 副分団長

石山 一美

精績章 受賞
第7分団 副分団長

樋口 博之

勤続章 受賞
団本部 副団長

鈴木 常夫

齋藤さん訃報



元第6分団 部長
齋藤定信様(享年67歳)

私と齋藤さんとの出会いは、自分が
中学2年生14歳からの付き合いで、従
兄弟の友人でした。

誰からも好かれる人柄で、年下の自
分も弟の様に可愛がって貰い、良いこ
ともヤンチャなことも教えて貰いまし
た。怒る時は優しく叱ってくれ、本
当の兄貴みたいな存在でした。なの
で、今は親が亡くなった時より悲しく
とつてもさみしい気持ちです。

自分と齋藤さんとの個人的な話をさ
せてもらいましたが、消防団は平成16
年に入団をしました。人柄と心遣いで
第6分団の皆から愛され、操法大会で
も入団1年目から4番員をされたり、
なにしろ団活動には人一倍積極的な人
でした。また、第6分団は飲み会等の
二次会は、必ずと言って良い程、齋藤
さんの経営している喫茶店で過ごし楽
しませて貰いました。数え切れない程
楽しい思い出があります。突然の訃報
ではありましたが、葬儀には町会、友
人、知人以外にも、消防署、団長、本
団、各分団長、第6分団全員に見送ら
れ旅立ちました。第6分団は最大の人
材を失って、残念でなりません。皆さ
んも色々な思い出が有ると思いますが、
齋藤さんはなにしろ人に気を遣われる
のが大嫌いな人でしたから控えめに大
きな気持ちで、ご冥福を祈りたいです。

【第6分団 吉田】

東京ユナイテッドバスケットボールクラブ
(TUBC)のマスケットキヤラクター
「ユナイト」が秋の火災予防運動を応援!!

深川管内にあるTUBCは、有明ア
リーナを拠点に東京ベイエリアをホー
ムエリアとする江東区発祥のプロバス
ケットボールクラブです。

TUBCは、バスケットボールやエ
ンタメを通じて新たな出逢い、人と人
とのつながり(コミュニティ)を生み
出すクラブを目指しています。

TUBCが目指す理想の姿は、バス
ケットボールやスポーツを通じてつな
がりあう「TOKYOの新しいコミュ
ニティ」です。

今回、コミュニティの力による地域
の課題解決の一環として地域防災にも
貢献。

9月2日防災デリ@有明ガーデンに
て、深川消防団と一緒に防災・減災を
呼びかけました。

そして、これから始まる秋の火災予
防運動週間という事で、マスケット
キヤラクターの「ユナイト」がチームと
共に防火・防災を応援してくれました。

【第9分団 岩淵】



さきもり編集委員

分団名	任	務階	級氏	名
団本部	監	修	団	長 田口 賢治
団本部	委員	長	副	団長 中澤 聡
団本部	委員	長補佐	分	団長 菊地 常美
第1分団	委	員	員	中 荏 誠
第2分団	委	員	班	長 今井 寛隆
第3分団	委	員	班	長 中島 沙江子
第4分団	委	員	部	長 熊谷 博人
第5分団	委	員	班	員 梅内 美園
第6分団	委	員	班	長 吉田 仁美
第7分団	委	員	部	員 村上 幸夫
第8分団	委	員	副	分団長 庄井 勤
第9分団	委	員	部	長 岩淵 初美
第10分団	委	員	部	長 山口 孝志

編集後記

今回の46号はいかがでしたでしょうか?
永年、深川消防団の歴史を記録してきた
広報誌「さきもり」。SNSなどの普及
により、紙媒体の広報誌については常に
存続が議論されています。しかし、紙媒
体ならではの工夫を凝らし、編集員一同
全力で取材に当たり、撮影編集し読者の
もとへ広報誌をお届けしております。私
たちは、普段は訓練にも参加し実体験を
記事にするという消防団ならではの編集
員です。今後とも読者の皆様にあつては、
温かい目で見守って頂き、消防団員にお
いては是非お近くのさきもり委員まで情
報提供・かつこいいお写真などお知らせ
下さい。...次号に続く?お楽しみに!!

【第9分団 岩淵】